

これ知っトコ!

らいとぴあ21
連続セミナー企画

～なんか気になる世間のトピック、集めてみました～

こどもに

伝える

部落問題!

Kodomo ni

Tsutaeru

Buraku Mondai!

2011年

11月18日(金)

■ 開場 /18:00

■ 講演 /18:30 ~ 20:30

■ 会場 らいとぴあ21・視聴覚室

■ 参加費 無料

■ 講師 星野勇悟さん

「部落問題学習ネタつくろう会」代表



「部落って何?」「今も差別はあるの?」

もしこどもにこう聞かれたら、保護者や教員、周りの大人はどう伝えればいいのか? 何を伝えるべきなのか?

そんなことを考えるセミナーです。

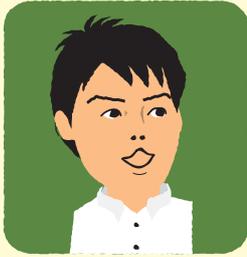
講師には、教員でもあり、保護者としてもこどもに部落問題を伝えてきた、「部落問題学習ネタつくろう会」代表の星野勇悟さんを迎え、考えを深めたいと思います。

人権問題に取り組む上で大切なのはマニュアルを探すことではありません。当事者性をもって、自分ごとと捉えながら、なおかつプラスのメッセージを伝えられることが重要です。

「これだけは伝えたい!」受講された方がそんな気持ちを持てるようなセミナーをめざしていきます。



◆講師プロフィール



星野 勇悟 (ほしの ゆうご)さん「部落問題学習のネタをつくろう会」代表

2003年～大東市立北条小学校人権教育主担

2005年～大東市人権教育研究協議会事務局長

2010年～大人教・北河内人研事務局に関わる

2004年度、「大東市部落問題学習カリキュラムづくりワーキンググループ(市教委主催)」立ち上げに関わり、以来中心メンバーとして活動する。

自身の部落問題学習実践をもとに「部落問題学習ネタつくろう会」ではメンバーとともに授業づくり及び検証を重ね、2007年に「部落問題学習の授業ネタ～社会科日本史でやってみよう～(部落問題学習ネタつくろう会刊)」を発刊。2009年には「部落問題学習の授業ネタ～5歳から18歳でやってみよう～(解放出版社刊)」を続けて発刊。現在も部落問題学習ネタつくろう会代表として活動しながら、部落問題学習実践の必要性について自身の実体験から自分の言葉で各地で「しゃべくり」している。

▼セミナー今後の予定

今年のテーマは **こども!**

12月 テーマ『こどもの貧困』

3月 テーマ『家族って何?～一人親家庭のこどもたちによる本音トーク～』

日時未定 テーマ『社会的養護～児童養護施設で育った若者たちの声～』

日時未定 テーマ『今、暮らしを見つめ直す～エネルギー問題をキッカケとして～』

*日程や内容は変更する場合があります。ご了承ください。

詳細は随時ブログにUPします

セミナー企画のスタッフブログ

<http://raipiseminar.seesaa.net/>

■お問い合わせ

らいとぴあ21 / **072-722-7400**

■主催 / らいとぴあ21(箕面市立萱野中央人権文化センター)



らいとぴあ21(大阪府箕面市萱野1-19-4)